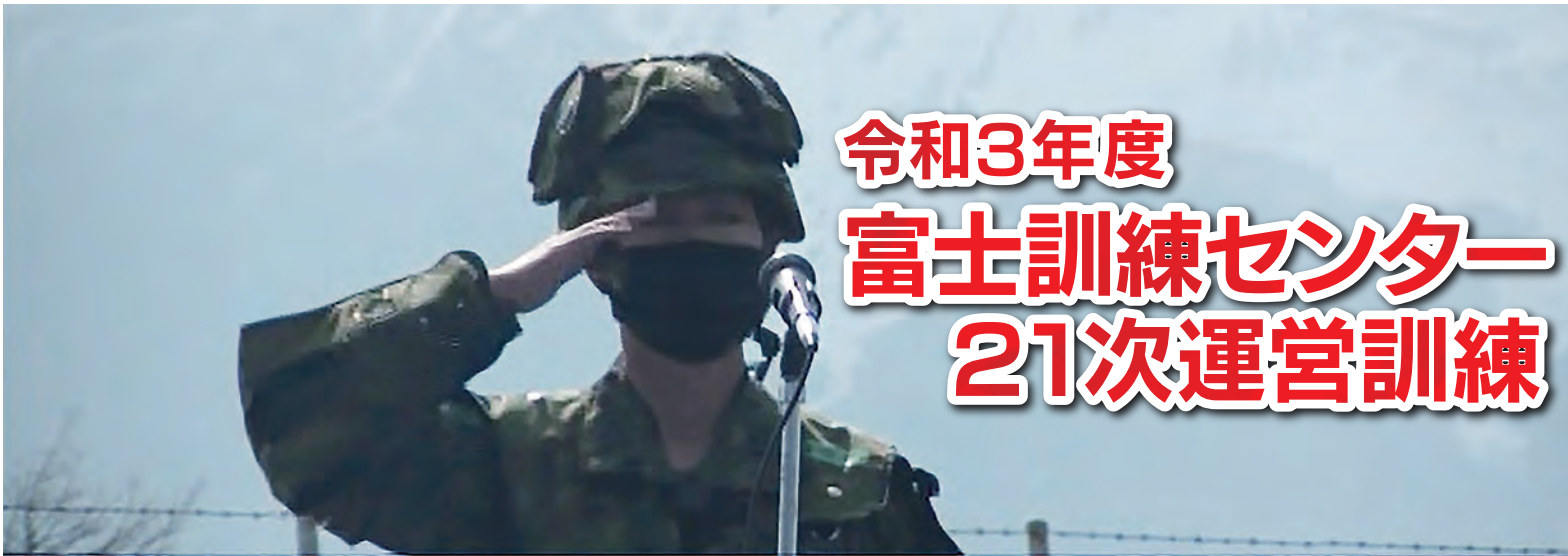




令和3年度 富士訓練センター 21次運営訓練



隊容検査



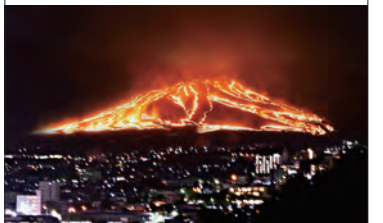
決意表明 (第3小隊 武藤3曹)



対抗部隊との交戦



中隊長の現状認識



発行責任所
別府市自衛隊協力会
印刷 (株) 電子印刷センター

優秀者紹介

狙撃銃の部 第1位 狙撃班 2等陸曹 大井 真樹	狙撃銃の部 第3位 3等陸曹 大迫 明紀	第4小隊 3等陸曹 山口宗一郎	担架班 第2位 3等陸曹 大鍛冶秀優	小銃の部 第1位 3等陸曹 山口宗一郎
--------------------------------------	-------------------------------	-----------------------	-----------------------------	------------------------------

訓練開始1日目の早朝、各小隊が細部の敵情を解明するため、隠密に作戦地域へ潜入を行った。各小隊は企図を秘匿した攻撃前進を行い、砲迫火力の發揮により、敵の火力を制限するとともに、第4小隊の組織的な近接戦闘により、敵の分隊を撃破した。中隊はあらゆる手段を用いて訓練2日目の18時頃まで戦闘を継続し、状況が終了した。

今後は第2中隊は富士訓練センターでの成果を基に、更なる練度向上を目指し、日々訓練に邁進していく。

連隊は、令和4年2月25日(金)から3月6日(日)までの間、令和3年度富士訓練センター第21次運営訓練に参加した。訓練部隊として、第2中隊を基幹とした増強普通科中隊を編成し、各隊員は、レーザー交戦装置、交戦用訓練装置(通称「バトラ」)を小銃、機関銃、狙撃銃等の火器及び身体に装着して参加した。本訓練の目的は、攻撃における指揮幕僚活動、部隊の基本的行動及び各隊員の基礎的動作を客観的・計数的評価をして、その進歩向上を促すことであり、各隊員は実戦さながらの緊迫した訓練を行った。

雪が残る北富士演習場で行われた隊容検査において、増強普通科中隊長である藤原真一1等陸尉は、中隊長要望事項として「最後まで生きて戦え」と要望し、各隊員の士気を高揚させた。

令和3年度 連隊戦闘戦技競技会

連隊は、令和4年3月18日(金)から3月24日(木)までの間、令和3年度連隊戦闘戦技競技会を別府駐屯地及び十文字原演習場で行った。

本競技会は、近接戦闘能力及び戦術支援能力の向上を図る事を目的とし、各中隊から競技種目(観測、通信、衛生、炊事)に選ばれた選手が日頃の訓練の成果を競い合った。

観測競技会は、悪天候の中、十文字原演習場で、地図やコンパス等を使用し各選手は自己位置の判定、目標の発見及び射撃要求の精度を競い合い、見事に第1中隊が優勝に輝いた。

通信競技会は、競技課題である学科試験及び広帯域多目的無線機の取扱い操作を行い、正確な諸元の入力、電波法の理解度を確し本部管理中隊が優勝に輝いた。

衛生競技会は、雨が降りしきる駐屯地グラウンドで第一線救護における患者の受傷から救護や緊急外科手術を受けるまでの状況で行い、救命率を真に向上させるため時間を如何に短縮するかの技術を競い合った。各隊員は、刻一刻と変化する状況に対応しながら隊員相互に救護を行い第3中隊が優勝に輝いた。

炊事競技会は、調理手順、衛生管理、安全管理、及び食味をもって評価された。本競技会は指定された献立(御飯、酢豚、ポテトサラダ、たまごスープ)を競技時間内に各隊員が協力し合い調理を行い第4中隊が優勝に輝いた。

成績

観測競技会 優勝 第1中隊	通信競技会 優勝 本部管理中隊	衛生競技会 優勝 第3中隊	炊事競技会 優勝 第4中隊
---------------------	-----------------------	---------------------	---------------------



諸元の入力(通信)



自己位置の判定(観測)



調理(炊事)



傷病者の搬送(衛生)



スペシャルドリンクの運搬

選手の荷物積載

激励演奏

第70回記念 別府大分毎日マラソン大会支援

連隊(本部管理中隊)は、令和4年2月6日(日)、大分市及び別府市で開催された第70回記念別府大分毎日マラソン大会を支援した。大会は例年約4000名近くのランナーが参加するが今年は、招待選手を含むトップクラスの選手と大分県在住者に限定され約500名のランナーが参加した。

当日は、スタート地点において参加選手の荷物を大型トラックに積載し、ゴール地点等に輸送するとともに、高機動車で選手が補給するスペシャルドリンクの運搬支援や、大会役員を小型車両に載せてコースを走行する監察業務に協力した。さらに第41普通科連隊音楽部、西部方面特科隊音楽部(湯布院)の合同音楽隊が激励演奏を実施しスタート前の選手達を音楽で鼓舞した。

本支援を通じて、大会実行委員・ボランティアの方々と協力してレースの成功を支え、自衛隊への理解と信頼を獲得することができた。

平和を仕事に!! 自衛官募集中!!

令和3年度別府駐屯地成人行事

別府駐屯地は、令和4年1月11日(火)、駐屯地体育館において別府駐屯地成人行事を行った。本行事の目的は、駐屯地所在部隊の新成人を祝福・激励するとともに、社会人並びに自衛官としての自覚を促す事で毎年行われている。2001年「千と千尋の神隠し」のヒットやイチロー選手の「メジャーリーグ移籍」が話題になった年に産声を上げた60名は晴れて大人の仲間入りを果たした。

成人者一人一人が行った成人の主張では、先輩隊員を前に「部隊の戦力になれるよう頑張ります。」「親孝行をしつかりやる一年にしたいです。」など各人が思いを述べた。その後、駐屯地司令 中村英昭 1等陸佐が、「感謝の気持ちを持つ」「志を持つ」の2点を要望し、皆が部隊の元氣そのもの。失敗を恐れず様々な事に挑戦してほしい。期待しています。と祝辞を述べた。

新成人となり新たな決意を胸にこれからの社会、自衛隊を担っていく若者達が新たな目標へ向け歩みはじめた。



成人の主張



成人の主張



記念撮影

令和3年度師団部隊格闘指導官集合教育

連隊は、令和4年1月10日(月)から3月7日(月)までの間、別府駐屯地において令和3年度師団部隊格闘指導官集合教育を実施した。本教育の目的は、近接戦闘において敵を圧倒する自信と能力を与えることの出来る部隊格闘指導官を養成する事であり、師団管内の駐屯地から集った被教育者45名に対して素養試験を実施し、合格した34名で教育がスタートした。

約2ヶ月にわたり格闘技術、安全管理、各種理論など部隊格闘指導官として必要な技術、知識の習得に励んだ。学生達は、幾多の厳しい訓練を乗り越え、教育の修了にあたり認定試験を受験した。修了式では担任官の佐藤達紀 3等陸佐が「合否により、諸官らの道がここで2つに分かれるわけではないこと。ここに

る皆が、真の格闘指導官への同じ道の途中であることを忘れずに引き続き精進していくってもらいたい。諸官らの部隊での益々の活躍を祈念する。」と訓示した。

今回、13人が部隊格闘指導官に認定され、今後は各部隊で格闘技術の普及にあたる。



コンバット・コンディショニング・ドリル(CCD)



不整地訓練



修了式(格闘徽章授与)

補助担架



傷病者の確認



救急法第2課題練成

初級らっば



らっば吹奏



修了検定

初級ATM



射撃陣地へ前進



操法訓練

初級部隊ネットワーク



高利得アンテナ建柱



有線の結線

各種教育



別府駐屯地 管理栄養士 益 永 和 美

別府駐屯地で管理栄養士を務めている益永と申します。レシピ紹介5回目は「きんぴら入り牛丼」を紹介いたします。ごぼう、れんこんなどの根菜を使い食物繊維豊富なメニューになっています。是非皆さんもご家庭で作ってみて下さい。

材料(4人前)

食品名	分量g(調理指示)
●糸こんにゃく	50g(5~7cm水洗い)
●ごぼう	30g(ささがき)
●れんこん	20g(イチヨウ3mm)
●人参	10g(短冊切り)
●サラダ油	5g(小さじ1)
●みりん	8g
●酒	8g
●うすくち醤油	4g
●牛バラ肉小間切れ	100g(3×3cm)
●酒	5g
●こいくち醤油	10g
●さとう	5g
●だしの素	0.5g
●小葱	5g(小口切り)

別府駐屯地隊員食堂
おすすめレシピ紹介。
5回目は、
「きんぴら入り牛丼」
のレシピを紹介します。



きんぴら入り牛丼

Vol.5

別府駐屯地隊員食堂
おすすめレシピ紹介

- 1 糸こんにゃくは5cm程度にカットし、水洗いする。
- 2 ごぼうはささがき、れんこんは2mm程度のいちょう切りにしてれんこんは水1ℓに酢を大さじ1杯入れた水に漬けておく。
- 3 鍋にサラダ油をあたため、ごぼう、れんこん、人参、糸こんにゃくを炒める。
- 4 酒、みりんを入れて混ぜ、最後にうすくち醤油を入れて混ぜ、きんぴらごぼうを仕上げる。
- 5 別の鍋に、酒、こいくち醤油、さとう、だしの素、水大さじ1を入れて沸騰させ、牛肉を入れて甘辛く味付けする。
- 6 きんぴらごぼうを牛肉の鍋に入れてまぜ、和えあわせて出来上がり。
- 7 丼にご飯を盛り付け6をかけて、小口切りした小葱をのせる。



